（様式1）

令和4年度　学校評価結果報告書（高等学校用）

学校整理番号	25
学 校 名	青森県立百石高等学校
全日制の課程	校舎

(1) 学校教育目標	1　明るく健康で、礼儀正しい生徒の育成 2　自分で目標を定め、それに向かって専心努力する生徒の育成 3　新しい時代を主体的に切り拓く、心豊かで、逞しい生徒の育成
(2) 現状と課題	基礎学力が定着していない生徒や学習習慣の欠如、基本的生活習慣が身についておらず、目的意識や進路意識も低い生徒が見られる。そこで、将来の自分の夢を持って真剣に進路を考え、学校生活を有意義に過ごすために、学習習慣と基本的生活習慣の確立に向けた指導を行うとともに、普通科においては特色ある教育活動の推進と食物調理科では資格取得を活かした進路活動の充実が課題である。
(3) 重点目標	1　魅力ある教育活動の推進
	2　学習指導の充実
	3　キャリア教育の充実
	4　健康・安全教育の充実
(4) 結果の公表	本報告書を学校ホームページに掲載するとともに、次年度のPTA総会で保護者に公表する。

自己評価実施日	令和 5 年 1 月 23 日（ 月 ）
学校関係者評価実施日	令和 5 年 2 月 15 日（ 水 ）

(9) −イ　学校関係者評価委員会の構成
保護者1名・学校評議員3名　計4名

自己評価					学校関係者評価	(10) 次年度への課題と改善策
番号	(5) 評価項目	(6) 具体的方策	(7) 具体的方策による目標の達成状況	(8) 目標の達成度	(9) −ア　学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	①学科の特徴を捉えた教育課程を編成する。 ②地域と協力しながら食に関するイベント企画・運営を通して、知識と技術の向上を図る。 ③学校の魅力を積極的に発信する。	①各学科の特徴を捉えた教育課程の編成をする。 ②高校生レストランの実施、地域行事への参加、各種コンテストへの参加。 ③学校HP、学校通信、校門前看板、広報おいらせ、報道等から情報発信を行う。	①各学科とも特徴ある教育課程の編成となった。 ②今年度の高校生レストランは、惣菜販売を実施した。また、各種コンテストへも多数応募し優秀な成績を収めるとともに、全国高校生クッキングコンテストでは文部科学大臣賞を受賞するなどの活躍を見せた。 ③広報おいらせや報道等への情報発信は積極的に実施できたが、学校HPはリアルタイムで更新できなかった。	B	・高校生レストランにかかわらず「地域・企業・大学生・地域おこし協力隊」などと協働・連携による商品開発・販売活動等をとおしてコミュニケーション力や企画力、情報発信力などの社会人として必要な人間力を高める機会としてもらいたい。 ・教育課程を含めて特色や独自性のある教育活動については、引き続き積極的にPRしていただきたい。 ・学校HPをリアルタイムに更新するの大変な作業であるため、教務部主体から各分掌に分散させ発信内容を常に管理し、情報統制しなければならない。 ・今後、百石高校を進学先に考える中学生のためにもチャレンジできるものに何があるかを分かり易く伝えることも必要。	・教育課程を含めた特色ある教育課程を研究・実施できるように創意工夫する。 ・高校生レストラン自体は部員数の減少から運営方法等の変更は余儀なくされるが、地域や企業、行政との連携は積極的に実施していく。 ・情報発信に関しては、各分掌で積極的に学校HPの更新ができるよう改善したい。また、町広報や報道機関への情報発信も積極的に実施する。
2	①基礎学力向上のため、教材の精選・工夫・研究に努める。 ②主体的・対話的・協動的な学習態度を育てるための環境を整備する。 ③探究活動の充実を図る。 ④「読書すること」「文章を書くこと」を重視し、生涯学習につながる態度や能力の育成する。	①基礎基本を大切にし、生徒の実態に合わせながら「分かって、楽しい授業」の実施。 ②ICT機器を積極的に活用した授業の展開。 ③地域課題や職業をテーマにした学習活動の実践。 ④朝読書の充実	①ティームティーチングの授業展開を行うなど「分かって楽しい授業」を実施した。 ②各授業においてタブレットを使用した授業が展開されており、自ら学ぶ環境は整っている。 ③全教員が総合的な探究の時間を担当し、ファシリテータとして地域課題や職業についての学習活動を実践することができた。 ④朝読書を実施することで、心を落ち着けて学校生活をスタートさせることができている。	A	・スタディ・サプリの活用で進捗状況が分かりやすくなっていることや、いつでも学べる環境を充実させていることはありがたい。 ・手にとって新聞を読ませるマニアック教育は大事であり、新聞配布の効果がどのような形で生徒に表れているのかを知りたい。 ・生徒の授業に向かう姿勢が重要であり、周りへの影響等も考慮すれば生徒自身が自覚し、改善することも必要である。	・1人1台端末を有効に使い、ICT機器を活用した授業展開を各教科で積極的に取り組む。 ・授業アンケートを参考にし、より効果的な取り組みをおこなう。 ・生徒が自ら学ぶ環境を整えるために、興味関心が持てるような授業展開を実施する。 ・総合的探究の時間を活用し、地域理解、郷土愛を育み、地域課題解決に向けた取組を継続する。
3	①生徒の安全を最優先とし、安全指導や避難訓練等を実施する。 ②自らの健康保持増進を図り、心身ともに健康で安全な生活を営む態度を育てる。 ③施設・設備の安全点検を定期的に実施し、事故等の未然防止に努める。	①生徒の安全確保のため、各種安全教室や避難訓練を実施する。 ②健康診断や各種検診を年間計画通りに実施する。 ③校内巡回をし、校内における破損箇所はすぐに修繕するなどし、安全安心できる学校環境を整える。	①交通安全教室、スマホ安全教室や年間3回の避難訓練を計画通り実施した。 ②健康保持のための健康診断や各種検診を実施し、受診が必要な生徒に対しては保健室より受診を促した。 ③事務部と連携し、校内における破損箇所は直ちに修繕してもらい、安心して学校生活ができる環境を整えた。	A	・生徒の安全安心に関わる部分については、引き続き保護者や地域関係者等とも連携・連絡を密にして早期の対応を心がけていただきたい。 ・最近は「想定外」の事象が「想定内」に変化してきており、国内外、世界情勢を視野に入れたグローバルな安全教育も考えなければならない。 ・高校生の間に成人を迎える生徒がいる中で安全確保のためのルールや訓練をの内容を家庭にも発信できるといいのではないか。 ・校内が清潔で整理整頓されていて気持ちが良い。学校環境がとても良いと思う。	・学校は安全・安心な場所でなければならないと高い意識を持ち、各種安全教室や避難訓練等を継続的に実施する。 ・環境整備の充実と健康保持ための活動、新型コロナウイルス感染防止対策など、健康保持増進に積極的に関わっていく。 ・いじめアンケートや家庭生活状況アンケートを生徒指導に有効に活用し、未然防止に努める。
4	①3年間を見通した系統的で継続的、組織的な指導を全教員の共通理解のもと、適正な指導体制を図る。 ②望ましい勤労観や職業観を育成し、生徒が主体的に進路選択ができるようにする。 ③生徒や保護者に適切な進路情報を提供し、進学講習や資格取得講習への積極的な参加を推進する。	①全教員が共通理解のもとに、計画的・効果的な指導を行う。 ②地域の協力を得ながら、望ましい勤労観・職業観を育成し、社会的職業的自立を促し、生徒一人ひとりの進路志望を実現する。 ③進路に関するさまざまな情報を保護者へ提供する。また、おいらせ町の支援事業を積極的に活用して資格取得を推進する。	①3学年の小論文指導、面接指導を全教員で行うなど協力して指導にあたった。 ②地域企業の協力の下、インターンシップを実施するとともに、総合的な探究の時間を活用したり、進路ガイダンスを効果的に使い、個々の進路希望に添えるような活動を数多く実施した。 ③学年通信、進路だより、保健だよりなどで学校情報を保護者へ向けて発信した。また、各教科においては、各種資格取得へ向けて講習を実施し、上位級合各者も輩出した。	A	・進路指導に向けて教員の関わり方が良く、生徒も安心して頼れている。 ・町の支援事業を活用しながら、幅広い進路選択が主体的にできるよう適切な指導・支援をお願いします。 ・現在の取り組みや支援制度の活用により、自身の将来や進路について生徒が積極的に考え取り組んでいけるような環境づくりと、そのための指導やサポート体制を継続していただきたい。	・3年間を見据え、系統立てたキャリア教育を教職員の共通理解のもと、実施できるようにしたい。 ・キャリア教育として、進路活動にとどまらずボランティア活動や校外活動につても参加できるようにする。 ・町からの支援事業を積極的に活用し、生徒一人ひとりが目標に向かって活動できる場面を増やしていく。

(11) 総括	多様な生徒一人ひとりに寄り添いながら、分かって楽しい授業に努める。また、3年間を見据えたキャリア教育の推進と学校活性化を図るために、地域と学校が協力・連携した魅力ある学校づくりを目指し、学習活動や学校行事等において、生徒が最後まで目標に向かって輝いていけるように教職員が一致団結して頑張っていきたい。